

Minami Kyushu University Syllabus						
シラバス年度	2023年度	国講キャンパス		都城キャンパス		
科目名称	果樹園芸学特論Ⅱ			実務経験		Active・L ○
科目コード	611200	単位数	2単位	学位授与方針との関連	DP1	
教員氏名	前田 隆昭					
授業概要	果樹園芸学特論Ⅰでは、各果樹の現状および研究状況を解説し、生産場面における栽培技術的特徴や問題点を紹介した。本講義では、特に海外の動向を中心に海外での研究成果をとりあげながら講義を行っていく【知識・理解の育成】。					
関連する科目	果樹園芸学特論Ⅰを受講しておくことが望ましい。					
授業の方法と進め方	毎回、授業の始まりに、前回の復習を兼ねて小テストを行う【知識・理解の育成】。その後、授業を始める。授業はパワーポイントを用いて行う。本授業はディスカッション、プレゼンテーションを取り入れたアクティブラーニング形式で実施する【専門分野の知識・技能の育成】【コミュニケーション能力の育成】。					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の進め方授業の概要および進め方について説明する。 2. 落葉果樹 1 海外での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 3. 落葉果樹 2 海外での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 4. 落葉果樹 3 海外での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 5. 落葉果樹 4 海外での落葉果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 6. 常緑果樹 1 海外での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 7. 常緑果樹 2 海外での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 8. 常緑果樹 3 海外での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 9. 常緑果樹 4 海外での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 10. 常緑果樹 5 海外での常緑果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 11. 熱帯果樹 1 海外での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 12. 熱帯果樹 2 海外での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 13. 熱帯果樹 3 海外での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 14. 熱帯果樹 4 海外での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 15. 熱帯果樹 5 海外での熱帯果樹類に関する最先端の研究の現状について概説する。 					
授業の達成目標	最先端の果樹園芸学の研究や海外の農業の諸事情を知ることにより、グローバルな考えを持たせることを目標とする【専門分野の知識・理解の育成】。					
授業時間外の学修	次回、講義で使用する文献を配布するので、事前に予習するとともに、講義後もきちんと復習すること。(約1時間)					
課題に対するフィードバック	小テストについては終了後解説する。		評価方法・基準		受講態度(50%)、課題提出(50%)	
テキスト	特になし					
参考書	随時、文献を配布する。					
備考						